

の漢字の読みを

の右側に書

きましよう。

① 東京都の今朝の気温。

② 今日、暑くもなく、寒くもない。

③ 残暑ざんがまだまだきびしく、体調が悪い。

④ 冬の寒気におおわれる。

⑤ 温かいスープをいただく。

⑥ 昔、都は京都にあった。

国語  
三十二  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書

きましょう。

① 彼が投げたその一球が明暗を分けた。

② 彼の投げる球はとても速く、打つことができない。

③ 打者は、暗い表情でベンチに帰っていた。

④ 遠投とは遠くに投げることです。

⑤ 大島行きのおおしまゆきの船は、速度のすみを上げた。

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましょう。

① 「飲酒運転きん止」とは、お酒を飲んだあ  
とに車を運転してはいけないということであ  
す。

② 急に止まったので、転んでしまった。

③ 飲料水を運ぶ。

④ 自転車であら川ぞいをサイクリングする。

⑤ みんなでいっしょに運動した。

国語  
三十四  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましょう。

- ① 母は、反対がわの歩道を歩いています。
- ② ビート板をもとの場所に返す。
- ③ 家の近くの坂は、とても急です。
- ④ 犬小屋を作るために板を買ってきました。
- ⑤ この本の返きやく日は、来週の月曜日です。

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましょう。

① ギョウザの皮を買う。

② 福引を引くために列にならぶ。

③ この服は、わたしには小さすぎます。

④ 波打ちぎわにずっといたから皮ふが赤くなつた。

⑤ 台風が近づき、波ろう注意ほうが出た。

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① 植物が、畑に根をはっている。

② 葉がおいしげっている。

③ 畑に大根を植える。

④ 山の木々がみごとにこう葉している。

⑤ おにごっこで、物かげにかくれる。

国語  
三―七  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

とり組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましょう。

- ① 大すきな詩を、おぼえている。
- ② 持ってきたあめを等しく分ける。
- ③ 調子がよくなるまで、しずかに待つ。
- ④ どれくらい動きを持ぞくできるか調べる。
- ⑤ 公園でかけっこをして一等になる。

国語  
三十八  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書

きましょう。

① 油であげるのには理由がある。

② 汽笛を鳴らす。

③ この神社の由来を調べる。

④ 油性ペンで笛に名前を書く。

⑤ 役所に申告のとどけをだす。

⑥ 神様にいのる。

⑦ 大会へのさんかを申しこむ。



国語  
三十九  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① その住所はあの電柱の先です。

② 暗いので、柱に注意して歩きなさい。

③ 主な登場人物。

④ 火に油を注ぐ。

⑤ 神主が住む所。

⑥ 自主的に調べている。  
てき

国語  
三十一  
(読み)

第二学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① この湖はとても深い。

② 深夜すみだがわに隅田川の下流に着いた。

③ 川の流ながれが速はやいので泳およいではいけない。

④ 奥多摩湖おくたまに氷こがはる。

⑤ 氷山こを見たみたことがある。

⑥ 今日けふの体てい育いくは水泳すいようです。

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましょう。

① 羊の様子を見に行く。

② とても美しいおひめ様でした。

③ 美じゅつ館に行く。

④ この羊毛のセーターは、はだざわりがよく、  
幸せな気持ちになる。

⑤ 太平洋にうかぶあの島で、とても幸福な  
時間をすごした。

国語  
三十二  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

とり組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 真南の方向の空を写真におさめる。
- ② まん員電車に乗る。
- ③ 道具をうまく使えず、負しようした。
- ④ トウキョウダルマガエルを育てる。

国語  
三十三  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 家族で次の水上バスに乗る。
- ② お医者さんにみてもらう。
- ③ 次回の体育のじゆ業は、鉄ぼうです。
- ④ 自分の短所はよくわかっている。
- ⑤ だんだん日が短くなってきた。

国語  
三十四  
(読み)

第二学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① 病院で受しんする。

② 小<sup>こ</sup>金<sup>が</sup>井<sup>ねい</sup>公<sup>こう</sup>園<sup>えん</sup>について取<sup>と</sup>材<sup>ざい</sup>する。

③ 漢<sup>かん</sup>字<sup>じ</sup>テ<sup>テ</sup>ス<sup>ス</sup>ト<sup>ト</sup>を<sup>を</sup>受<sup>う</sup>け<sup>け</sup>る。

④ 軽<sup>けい</sup>か<sup>か</sup>い<sup>い</sup>な<sup>な</sup>フ<sup>フ</sup>ツ<sup>ツ</sup>ト<sup>ト</sup>ワ<sup>ワ</sup>ー<sup>ー</sup>ク<sup>ク</sup>で<sup>で</sup>ボ<sup>ボ</sup>ー<sup>ー</sup>ル<sup>ル</sup>を取<sup>と</sup>っ<sup>っ</sup>た<sup>た</sup>。

⑤ 文<sup>ぶん</sup>化<sup>か</sup>祭<sup>さい</sup>で、王<sup>おう</sup>子<sup>し</sup>の<sup>の</sup>役<sup>やく</sup>を<sup>を</sup>す<sup>す</sup>る<sup>る</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>に<sup>に</sup>な<sup>な</sup>っ<sup>っ</sup>た<sup>た</sup>。

⑥ 思<sup>し</sup>っ<sup>っ</sup>た<sup>た</sup>よ<sup>よ</sup>り<sup>り</sup>も<sup>も</sup>軽<sup>けい</sup>か<sup>か</sup>っ<sup>っ</sup>た<sup>た</sup>。

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 本を整えたら、そうじは終わります。
- ② 終りよう間ぎわにお客さんが来た。
- ③ 道路にイチヨウの葉が落ちていた。
- ④ 放か後に、育てたチヨウを野に放した。
- ⑤ いしの落下に気をつけて整列して歩きましよう。

国語  
三十一十六  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① あまりのこわさに悲鳴をあげる。
- ② 相手の悲しみを感じる心。
- ③ みらいの東京を想ぞうする。
- ④ 休息をとって、息を整える。



国語  
三十七  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

とりぐんだひ

月

日

かんじよ  
の漢字の読みを

みぎがわ  
の右側に書か

きましよう。

① 母が病気がったので、かわりに八百屋  
さんに買い物に行った。

② 病は気から。

③ 庭にそう庫がある。

④ 屋上から校庭をながめる。

の漢字の読みを

の右側に書

きましましょう。

① 実けん室で研究に取り組む。

② 柿の実をカラスから守る。

③ 守備がよいので安心だ。

④ 今日は、なっ豆が安い。

国語  
三十九  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① あたらしい体育館はまるで館やかたのようだ。

② 宿題の予定をれんらく帳に写す。

③ 宮でんのような宿にとまった。

④ お宮まいりに出かける。

⑤ ピントを定めて写真を撮る。

国語  
三十二  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 世界を旅する。
- ② 新聞を読んで、世の中のできごとを知る。
- ③ 家族で大島へ旅行に行く。
- ④ 日本列島には、多くの鳥がいる。
- ⑤ 海岸ぞいに、向こうの岸まで歩く。

国語  
三十一  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① 鼻から血が出た。

② 耳鼻科に行く。

③ 身長、体重、血えきがたを書く。

④ 歯をみがけば、身支度みじたくが終わる。

⑤ 犬歯を指でさわってみる。

⑥ お皿に指もんがついている。

国語 三十一・二十二 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-----------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みをよの右側みぎがわに書かきましよう。

- ① せんしゆのかつやくに期待きたいしている。
- ② 心配しんぱいごとを相談さうだんする。
- ③ 相手のことあいのことを考えて行動こうどうする。
- ④ 新聞しんぶんが配くわいたつされた。
- ⑤ 面談めんだんの手紙てがみを配くわいる。

国語 三十一二十三 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
----------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① 東京都庁は、新宿区西新宿二丁目にある。  
ちよう

② 九州の福岡県から来ました。  
おか

③ お豆ふを二丁買いに行く。

④ 号れいをかける。

⑤ お豆ふは、大豆という豆から作られる。

国語  
三十一～二十四  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

とり組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① 橋をわたると浅草駅あさくさが見えてくる。

② 港の近くにあるゆうびん局。

③ 日本橋行きのバスに乗る。

④ 乗船した船が、小笠原おがさわらに向けて出港した。

⑤ 歩道橋を使って反対がわに行く。



国語  
三十一二十五  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 横だん歩道をわたる。
- ② 校庭の中央を向く。
- ③ 進む方向を決める。
- ④ 進路を決定する。
- ⑤ にもつを横に動かす。

国語  
三十一二十六  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① 歌の練習をする。

② 遊ぶときのルールを学級会で決めた。

③ 遊園地で遊ぶ。

④ 作せんを練る。

⑤ おどりを習う。

⑥ 夏休みは、朝のうちに勉強した。

国語  
三十一二十七  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書

きましよう。

① じゆ業が終わったら、図書委員は  
集まってください。

② 係の仕事が終わった。

③ 王に仕える。

④ 図書館で本を読む。

⑤ 集会にかん係のある人は集合してくだ  
さい。

国語  
三十一二十八  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 平和をねがう。
- ② 式をたてて、何倍になるかを計算する。
- ③ 平らな面を上にする。
- ④ 問題がたくさんある。
- ⑤ 問いと答え。

国語  
三十一二十九  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

① これはゆうめいな作曲家が使ったピアノ  
です。

② わたしは自動車に乗り、そのばから去った。

③ このおもちゃは、去年使用したときはちや  
んと動いた。

④ 過去の放送をふり返る。

⑤ 曲がり角まで送る。

国語  
三十三  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書

きましよう。

- ① 重い荷物を背負う。
- ② 起きてすぐに体重をはかる。
- ③ 起立をして朝のあいさつをした。
- ④ 両方の箱を開ける。
- ⑤ 小箱をつみ重ねる。

国語  
三十一  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 昔は炭で火をたいて湯をわかした。
- ② せん湯のおふろは広くて気持ちがいい。
- ③ 石炭を運ぶのに苦ろうした。
- ④ 苦しそうだったので、助けにいった。
- ⑤ 苦い薬を飲む。
- ⑥ いきおいをつけるために助走をとる。

国語 三十二 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みをよの右側みぎがわに書かきましよう。

- ① その銀の皿は、昭和六十年に作られた。
- ② 第五十回の運動会が始まった。
- ③ 開始の合図を待っている。
- ④ ドアを開ける。
- ⑤ 第一章のページを開く。



国語 三一二十三 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
---------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

の漢字の読みを  
の右側に書  
きましよう。

- ① 部品がなくならないように注意する。
- ② 部屋の中に商品がたくさんある。
- ③ 品物を二階に運ぶ。
- ④ かぶとむしが死んでしまった。
- ⑤ 商いがうまくいく。

国語  
三―三十四  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 太陽がのぼった。
- ② おばけに追いかけられるゆめを見た。
- ③ 化石をたまたま拾った。
- ④ りよう理を追かする。
- ⑤ お礼の手紙を書く。

国語  
三―二十五  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書

きましよう。

① 筆じゆんを調べる。

② よしの君は筆の使い方がうまい。

③ えん筆と消しゴム

④ 君は何秒で全部の問題をとけますか。

⑤ 全ての水をつかって火を消火した。

国語  
三十二十六  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書

きましよう。

① 農作業をして、あせを流す。

② 児童が登校する。

③ 高尾山に登る。

たかおさん

④ 勝つ者もいれば負ける者もいる。

⑤ オリンピックの勝者。

国語 三一二十七 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
---------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

\_\_\_\_\_の漢字かんじの読みを\_\_\_\_\_の右側みぎがわに書かきましよう。

- ① この薬くすりの味あじはとても苦くい。
- ② 理科室りかじつには、薬品くすりひんがたくさんある。
- ③ 他ほかにはどんな意味いみがあるか調しらべる。
- ④ 他人たにんの空似そらに。

国語  
三十一二十八  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

かんじ よ  
の漢字の読みを

みぎがわ か  
の右側に書

きましよう。

- ① 命の大切さを知る。
- ② ぐうぜんのさいかいに運命を感じる。
- ③ 交代でへやの表に出る。
- ④ 調べたけっかを表に表す。
- ⑤ ともだちの代わりに出せきする。

国語  
三十一二十九  
(読み)

第三学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書

きましよう。

① 緑いろの服を着る。

② 出発してしばらくすると、れっしやは新緑の山の中に入った。

③ かけっこで一着になった。

④ 有名な会場でピアノの発表会をする。

⑤ 有るか無いか、かくにんする。